

ミカンコミバエについて

1 ミカンコミバエとは

果実や果菜類に甚大な被害を与える重要な害虫

※体長7mm位の小型のハエの一種



2 主な寄主植物

- ・ ポンカン, タンカン, スモモ, マンゴー, パッションフルーツ等の果実類全般
及びトマト, ピーマン等の果菜類全般
- ・ 庭先のカキ, グアバ等の果物, 家庭菜園の野菜等にも寄生
- ・ 熟した果実を好む



3 なぜ恐れられるのか

- ・ 雌が果実に産卵し, 果実内で幼虫の食害が進行すると果実が腐敗
- ・ 他のミバエに比べ繁殖力が高い(産卵数が多い)ため, 定着すると急速に被害が拡大し, ひどい場合は収穫皆無となる
- ・ 寄生範囲が広い(ミカンとは名ばかりで, 多くの植物に寄生)

4 世界における発生地域

中国, 東南アジア, ハワイ等

発生地域からの寄主果実は、植物防疫法により輸入が禁止されているが、一部の品目については農林水産大臣が定める蒸熱処理等の基準に適合するものは除外されている。

5 防疫措置

- ・ 植物防疫法において, 検疫有害動植物に規定
- ・ 日本では根絶されているが, 台風, 季節風等に乗って東南アジア等からの侵入が確認されていることから, 国は全国の港湾, 空港等(県内29か所)で, 県は411か所の定点(R7年度)で侵入警戒調査を実施